黒色腫

1	オプジーボ+ヤーボイ
2	ヤーボイ

化学療法計画書

2025年7月改訂

治療法名	オプジーボ/ヤーボイ
コース数	コース目
腫瘍種	悪性黒色腫　肝細胞癌
患者名	♂ 年齢
患者ID	生年月日
部署	主治医 科 Dr

開始予定日

治療内容	Day	1・・・・・・ 8・・・・・・・ 15・・・・・・・	22
	予定日	1/0	
ヤーボイ 3 mg/kg		↓	↓
オプジーボ 80 mg/body		↓	↓

治療開始日			治療間隔		3週毎	予定コース数	4回で終了
身長	150	cm	体重	50 kg	BSA	1.43 m2	
eGFR	27	mL/min	eGFR/BSA	24	mL/min		

投与開始基準

・自己免疫疾患の合併または既往歴のある患者は慎重に投与

延期基準

・G2の有害事象

肺臓炎:ステロイド投与
下痢・大腸炎：ステロイド投与
肝障害：ステロイド投与
甲状腺機能低下症：甲状腺ホルモンの治療
甲状腺機能亢進症：非選択的β遮断薬など対処療法
神経障害：ステロイド投与
腎障害：ステロイド投与
副腎機能障害：ステロイド投与
下垂体機能障害：ステロイド投与
Ⅰ型糖尿病：インスリン補充療法考慮
膵炎：ステロイド投与
横紋筋融解症・筋炎：ステロイド考慮
重症筋無力症：抗コリンエステラーゼ検討
ステロイド投与
脳炎・髄膜炎：ステロイド考慮
心筋炎：ステロイド考慮

皮膚障害はG3で休薬
原則専門医に相談
G1に改善した場合は1か月以上かけてステロイド漸減
日和見感染に注意

day1

インラインフィルターを通す

1) 生理食塩液	50mL	血管確保
↓		
2) 生理食塩液	50mL	
オプジーボ	80mg	30分
↓		
3) 生理食塩液	50mL	30分
↓		（観察）
↓		（ヤーボイ5mg/mL）
4) 生理食塩液	100mL	
ヤーボイ	150mg	30分
↓		ヤーボイの液量分+10mLを生食から
↓		抜き、ヤーボイ分を生食に追加
↓		総液量は90mL
5) 生理食塩液	50mL	フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意

Infusion reaction
(軽度 ～中等度)
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

化学療法計画書

治療法名	ヤーボイ				
コース数		コース目			
腫瘍種	悪性黒色腫				
患者名		性別		年齢	
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容	Day	1	・	・	・	・	・	・	8	・	・	・	・	・	・	・	15	・	・	・	・	・	・	22
	予定日	1/0																				
ヤーボイ	3 mg/kg	↓																				↓

治療開始日		治療間隔	3週毎	予定コース数	4回で終了		
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.43 m2
eGFR	27	mL/min	eGFR/BSA	24	mL/min		

投与開始基準
・自己免疫疾患の合併または既往歴 のある患者は慎重に投与
延期基準
・G2の有害事象
肺臓炎:ステロイド投与
下痢・大腸炎：ステロイド投与
肝障害：ステロイド投与
甲状腺機能低下症：甲状腺ホルモンの治療
甲状腺機能亢進症：非選択的β遮断薬など対処療法
神経障害：ステロイド投与
腎障害：ステロイド投与
副腎機能障害：ステロイド投与
下垂体機能障害：ステロイド投与
Ⅰ型糖尿病：インスリン補充療法考慮
膵炎：ステロイド投与
横紋筋融解症・筋炎：ステロイド考慮
重症筋無力症：抗コリンエステラーゼ検討 ステロイド投与
脳炎・髄膜炎：ステロイド考慮
心筋炎：ステロイド考慮

皮膚障害はG3で休薬
原則専門医に相談
G1に改善した場合は1か月以上かけてステロイド漸減
日和見感染に注意

day1

フィルター通す

1)生理食塩液 50mL 血管確保

↓

（ヤーボイ5mg/mL）

2)生理食塩液 100mL
ヤーボイ 150mg 30分

↓

ヤーボイの液量分+10mLを生食から抜き、ヤーボイ分を生食に追加
総液量は90mL

3)生理食塩液 50mL フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意

Infusion reaction
(軽度 ～中等度)
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告